

一般社団法人日本熱帯医学会 2021年度第4回理事会議事録

開催日時 2021年6月23日(水) 13:30~16:00

開催場所 オンライン開催(ZOOM)

出席理事: 有吉紅也、石上盛敏、押谷仁、金子 修、河津信一郎、小林 潤、
齊藤(小畑)麻理子、澤邊京子、中澤 港、中村(内山)ふくみ、濱野真二郎、
山城 哲、吉田レイミント [13名]

出席監事: 狩野繁之、門司和彦 [2名]

欠席理事: 金 惠淑、山本太郎、吉川正英 [3名]

欠席監事: なし

オブザーバー: 橋爪真弘(編集長)

事務局員: 福田 緑 (理事・監事 50音順・敬称略)

- ・ 理事会構成員16名の内、13名の理事および監事2名(内 途中参加1名)の出席を得て理事会が成立したことを確認し、理事長を議長として議事を進行した。

【報告事項】

(1) 2021年度庶務報告・編集報告・会計報告

- ・ 濱野真二郎庶務担当理事より、2021年6月10日現在の会員会員数は、730名と報告された。(特別会員8名、名誉会員26名、功労会員38名、評議員91名、正会員316名、学生会員148名(内J-Trops64名)、在外会員90名、ポスドク会員13名)(団体会員2団体、賛助会員1団体)
- ・ 橋爪真弘編集長より、2021年6月15日現在の論文の投稿・掲載状況が報告された。
- ・ 河津信一郎会計担当理事より、2021年10月1日から4月30日までの会計状況について報告された。また、グローバルヘルス合同大会2020の収支についても報告された。

(2) 学会賞・相川正道賞・研究奨励賞・女性賞の報告

- ・ 金子修理事長より、各賞の選考委員会の結果が報告された。
学会賞: 西園晃氏(大分大学・医学部)
相川正道賞: 河津信一郎氏(帯広畜産大学・原虫病センター)
研究奨励賞: 日達真美氏(国連世界食糧計画セネガル事務所)
女性賞: 竹内理恵氏(琉球大学・医学部)

(3) 2021年度大会準備報告

- ・ 押谷仁大会長より、次期大会について、基調講演・シンポジウム・市民公開講座などの報告があった。
- ・ 大会HP、ポスターが完成したとの報告があった。
- ・ 7月初旬~中旬まで演題受付。参加登録開始が9月初旬からを予定している。

(4) 2022年度大会準備報告

- ・ 西園晃次期大会長に代わって、金子修理事長より大会概要が報告された。

会期:2022年10月7日(金)~9日(日)(仮)

会場:大分県別府市ビーコンプラザ <https://www.b-conplaza.jp/>

大会長:大分大学医学部微生物学 西園晃

テーマ:Suffering, Creativity and Innovation: Pathways to Global Health in COVID-19 Era and Beyond

第26回日本渡航医学会学術集会との合同開催

(5) 各委員会からの報告

- ・ 日本医学会:金子修評議員より、日本医学会120周年記念事業『日本医学会創立120周年記念誌』の執筆依頼を受けた。また、分科会活動報告をしたことと、日本医学会総会への参加依頼があった。
- ・ 国際委員会:有吉紅也委員長より、ICTMM2020の開催が、2022年10月24日から28日までに、再延期となったことが報告された。また、会員増加工作のひとつとしてRoyal Society of Tropical Medicine and Hygiene (RSTMH) とパートナーシップを結んでどうか、どちらかの学会員である場合には、相手の大会に学会員価格で参加できるなどのメリットもあるという提案があった。総論としては良いのではないかと、との意見がある一方、他学会で同様の協定を結んでいるところは、来日した場合の接待や相手学会の大会への参加など義務も増えて大変なので、慎重にした方が良く、との意見もあった。
- ・ 男女共同参画委員会:齊藤(小畑)麻理子委員長より、男女共同参画学協会連絡会への参加と、第62回大会でのシンポジウム企画について報告があった。
- ・ 史資料委員会:中澤港委員長より、活動の概要と今後の予定について報告があった。

(6) 学生部会報告

- ・ 山城 哲学生部会担当理事より、学生部会(J-Trops)の活発で切れ目ない活動について報告があった。

(7) その他

- ・ 科研費-国際情報発信強化(B)の内定報告と執行計画について:有吉紅也編集担当理事より、科研費の交付内定と執行計画について報告された。(5年間 1,950万円の補助金)
- ・ IF申請:橋爪編集長より、2021年6月中に申請することが報告された。結果は約1年後に発表される。
- ・ 日本医師会への報告事項:金子理事長より、今年度の報告事項について説明された。
- ・ 各種賞への推薦:金子理事長より、各種賞への推薦依頼があった。
- ・ 学会認定の専門医・専門職の制定について:有吉紅也副理事長より、日本感染症学会で熱帯医学専門医の認定をしてもらうような形が可能か、日本感染症学会の四柳理事長と相談をしているとの報告がなされ、次回理事会までに具体案を作成することとなった。
- ・ 編集委員会の改編:橋爪編集長より、投稿数の増大に伴う編集委員会の改編について、新編集委員の候補者が報告された。

【審議事項】

(8) 評議員候補者の承認

- ・ 評議員に、飯島 渉氏(青山学院大学文学部・教授)、市川智生氏(沖縄国際大学総合文化学部・准教授)が推薦され、承認された。

(9) 学生部会入会者の承認

- ・ 山城 哲学生部会担当理事から入会希望者について説明があり、24 名全員の入会が承認された。

学生部会予算の承認

- ・ 山城 哲学生部会担当理事から学生部会の予算案についての説明があり、今年度の予算として 89,264 円の依頼があった。学生部会会員 88 名からの会費が合計 88,000 円あり、この収入は学生部会の活動費として使用することとしていたため承認された。(後日、計算間違いがあり、今年度の使用予定は 70,064 円であった。予算は 88,000 円としておく。)

入会者承認と退会者の報告

- ・ 入会者 3 名(鱒淵明氏、岡井孝諭氏、金井亮輔氏)以外については、入会が承認された。3 名については、必要書類が整い次第、承認することとした。また、退会者について報告があった。

(10) 定款・細則の変更についての承認

- ① 定款の改訂案について、金子修理事長より提案され、承認された。
 - ・ 第 12 条 1 定時会員総会は、原則は年次大会開催時に開催し・・・「原則は」を追加
- ② 編集委員会規程の下記改訂案について、金子修理事長より提案され、承認された。
 - ・ 第 1 条 本規程は、学会誌の運用に関し必要な事項を定める。
 - ・ 第 2 条 3 編集委員長の任期は 3 期 6 年とする。
 - ・ 第 5 条(査読者)は削除
 - ・ 第 5 条(編集委員会) 編集委員会は、編集委員長が議長になり、副編集委員長および編集委員により構成され、原則として年次大会に際して開催するものとする。臨時編集委員会は必要に応じて開催する。
 - ・ 第 5 条 2 編集委員長は、編集委員より編集委員長が指名する。副編集長は、編集長を補佐し、編集長に事故がある時はその任務を代行する。
 - 第 6 条 2 編集委員会は所定の投稿審査手順に従い論文を処理する。
 - ・ 付則 1 本規程は J-STAGE 投稿システムへの採用が正式に認められた時(2008 年 2 月 26 日)より施行する。
- ③ 理事選挙細則・評議員選出細則・名誉会員選出細則・功労会員選出細則・特別会員選出細則の下記改訂案について、金子修理事長より提案され、承認された。
 - ・ 理事選挙細則第 1 条 日本熱帯医学会 定款第 23 条第 1 項の理事選挙方法を定める。
 - ・ 理事選挙細則 3-3) 理事就任の前年度において満 65 歳に達している評議員、理事候補辞退者は被選挙人としない。
 - ・ 評議員選出細則第 1 条 一般社団法人日本熱帯医学会定款第 13 条第 2 項により評議員の資格および選出方法を定める。
 - ・ 功労会員選出細則第 1 条 一般社団法人日本熱帯医学会定款第 5 条第 5 項により功労会員の資格および選出方法を定める。
 - ・ 名誉会員選出細則第 1 条 一般社団法人日本熱帯医学会定款第 5 条第 6 項により名誉会員の資格および選出方法を定める。
 - ・ 特別会員選出細則第 1 条 一般社団法人日本熱帯医学会定款第 5 条第 7 項により特別会員の資格および選出方法を定める。

- ④ 賞関連規程の下記改訂案について、金子修理事長より提案され、承認された。
- ・ 「日本熱帯医学会賞」選考規程第 1 条 一般社団法人日本熱帯医学会は、本学会に所属する研究者によってなされた熱帯医学に関する顕著な業績を讃えるために、日本熱帯医学会賞を設ける。
 - ・ 「日本熱帯医学会研究奨励賞」選考規程第 1 条 一般社団法人日本熱帯医学会は、本学会に所属する若手研究者による熱帯医学に関する独創的な研究を奨励するために、日本熱帯医学会研究奨励賞を設ける。
 - ・ 相川正道賞 (MASAMICHI AIKAWA MEDAL) 選考規定第1条 相川正道賞 (MASAMICHI AIKAWA MEDAL) は、故相川正道博士のマラリア学における功績を記念して、マラリア学の発展に寄与した研究・業績に対して一般社団法人日本熱帯医学会が表彰するものである。
- ⑤ 特別会計内規の改訂案について、金子修理事長より提案され、承認された。
- ・ 日本熱帯医学会特別会計内規 総則 特別会計は故 山村雄一名誉会員，故 岩田繁雄名誉会員，故 相川正道評議員，故 大鶴正満名誉会員，堀田進名誉会員，五十嵐章名誉会員，一盛和世評議員より日本熱帯医学会が受けた寄付金を原資とする。
 - ・ 註)研究奨励賞選考委員が特別会計運営委員を兼ねる。(平成 11 年度までは を削除)

(11) 評議員会の招集について

- ・ この理事会承認事項は、11 月の定時評議員会での承認事項とすることが承認された。

(12) その他

- ・ 理事長選任理事について:金子修理事長より、定款 23 条1 「理事長が理事と協議して選出した 3 名以内…を評議員会の決議によって選任する」という方法を変更することが提案された。
- ・ 監事の選出方法について:金子修理事長より、定款 23 条 2 「監事は、評議員の中から別に定める細則により選出され…」を追加する案が提案された。
- ・ 上記 2 点については、次期理事会、評議員会での審議事項とする。

(13)閉会

- ・ 以上の議事を終え、16 時 8 分に閉会した。上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

2021 年 6 月 23 日

議 長 金子 修 ⑩

監 事 門司 和彦 ⑩

監 事 狩野 繁之 ⑩